2018（平成 30）年 1 月吉日

朋友会会員の皆様へ

会長　大竹英恵

会則を改正するためのアンケート実施

会員の皆様には、日ごろ朋友会にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

朋友会をより良い形で若い世代につないでいくために、会則の改正を予定しています。会員の皆様からのご意見をアンケートの形でよろしくお願い致します。

朋友会に大きな転機

平成 29 年 5 月総会で 11 期から 34 期へと会長が変わりました。会員は 2 万人を超え、中学期から高校 69 期までと約 80 年の年齢差もあります。市内、県内だけではなく、国内、海外で活躍されている会員も増えています。学校の様子も変わりました。世の中も変わりました。朋友会では、横高内で行っていた事務作業を横須賀中央に移転しました。

従来、朋友会は、会を運営する会員を増やすために参加型企画を行ってきました。しかし、それだけでは朋友会を運営するのが難しくなってきました。運営する母体を大きくするよりも、運営する母体は小さくても、会員同士が知り合える場が増えることが必要になってきたようです。

リアルタイムに情報発信

以前は名簿や会報で会員情報を知ることができましたが、今は名簿発行ができなくなり、会員同士が知り合う場が少なくなりました。最近の知り合う手段は PC やスマホ（携帯）です。そこで、会員の活躍や活動をリアルタイムに情報発信していかれる組織に移行することで、すべての世代の会員に関心を持ってもらえる朋友会になれると考えています。今までの方式も継続しつつ、時代に合った形で会員同士が知り合う場をつくり、朋友会の目的である、母校への支援、地域への貢献に関われる会員が増えることを願います。

先輩から後輩へ継続するために

朋友会の会則は、平成 6 年から 23 年間変わらずに施行されています。その間、先輩方と若手とでは、朋友会に期待するものが少しずつ異なってきました。先輩方が継続してきた朋友会を、これからの若手に継続していくためには、目的や活動を少しずつ変えて、若い世代に関心を持ってもらう必要性を感じています。

つきましては、会則を見直し、より良い形で朋友会を継続していきたいので、アンケートのご協力をお願いします。この 20 年余りで変わってきた社会情勢、県立高校を取り巻く環境、朋友会の流れを考慮の上、皆様のご意見をいただきたいと思います。

会員ならだれでも回答 OK。若い世代の参加も！締め切りは 1 月 31 日

アンケート結果を常任幹事会で審議し、3 月の臨時総会で会則の改正案を提案していく予定です。より多くの世代が回答してくださるようお願い申し上げます。

以上

会則を見直す理由

①時代の変遷の中で、すでに会則の改正が必要な条文があるため
②事務手続きを円滑に行うために、会則を改正する必要が生じたため
③これからを見据えて、会則の改正を考えたいため

現在の朋友会の活動

横須賀高校卒業生は、
「母校を支援する」「地域に協力する」ことを目的として朋友会を運営し、
朋友会は、
「朋友オフィス」や「ホームページ」によるリアルタイムの情報発信で
会員と会員をつなぎ、会員が楽しめて、ちょっと得する気持ちになれる
活動をします。

時代の変遷

世の中の情勢：個人情報管理が厳しくなった。
郵便・電話の時代から、メール・SNS の時代になった。
紙媒体からネット利用の時代になった。
通学区域　：横須賀・三浦学区だったものが、平成 17 年に県内全域になった。
母校職員　：以前は、卒業生の割合が多く、長く横高に在籍していたが、今は
他校卒業生が多く、在籍が短い。
学校施設　：県の施設内で任意組織に占有させることの手続きは難しい。

会則を考える会

1 月 27 日（土）13 時半～14 時半にセントラルホテルで「会則を考える会」を行います。これからの朋友会の活動に見合った会則にしていくために、活動や会則に関する質問を受け付けます。ご意見はアンケートに記入お願いします。